

2009年度

科目名	金融論		
担当教員	尾川 信之		
配当	人社3	コード	43630
開期	後期	講時	木曜日3限
		単位数	2
授業テーマ	企業経営(ビジネス)と金融市場との関わりについて理解する。		
目的と概要	<p>目的 ビジネスと金融市場の関係と共に、ビジネスの局面に応じた財務戦略の基本を理解する。</p> <p>概要 経済活動の一員として企業経営(ビジネス)を進めて行く上で、顧客との関係に加え金融市場との関わりが重要となります。企業経営は「必要な資金を調達し、投資して、利益を上げる」ことです。すべての企業活動を自前の資金で賄える企業は稀です。様々な局面で金融市場との関わりが発生してきます。</p> <p>本授業では広い金融論の中で、企業のライフサイクル(設立期⇒成長期⇒安定期⇒変革期)に伴う金融市場との関わりにフォーカスをします。企業のライフサイクルで関わる金融市場に登場するプレイヤーが変わる面もあります。現実的な企業活動の面から金融論に迫ります。</p>		
成績評価法	期中レポート(40%)＋期末試験(60%)		
テキスト	ベーシック金融入門/日本経済新聞社/日本経済新聞出版社		
参考書	金融用語辞典/深尾光洋/日本経済新聞社		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<p>第1回 インTRODクシヨン(自分のライフプランと金融市場) (1)金融市場が個人にとっても無関係でないことを、ライフプランを通して実感する。</p> <p>第2回 金融の仕組み (1)金融の役割、(2)金融機関</p> <p>第3回 個人事業の設立と金融市場(設立期) (1)設立資金の調達:貯蓄・親類(親・親戚・知人)・金融市場からの調達と、これらの間の違い</p> <p>第4回 取引金融機関と口座開設(設立期) (1)取引金融機関の開拓・選択とその意義、(2)当座預金とは</p> <p>第5回 運転資金と設備投資(成長期) (1)短期借入と長期借入の違いを理解する、(2)金利とは、(3)有利な調達先の選択</p> <p>第6回 資金ショートへの対応(成長期) (1)黒字倒産、(2)赤字でも倒産しない理由、(3)手形割引と手形のジャンプ</p> <p>第7回 株式上場(成長期) (1)上場の目的、(2)上場のメリット、デメリット</p> <p>第8回 大型投資のための資金調達(安定期) (1)社債とは、(2)増資とは</p> <p>第9回 自社株買い(安定期) (1)自社株買いの目的、(2)償却するか、金庫株にするか</p> <p>第10回 為替ヘッジをする(安定期) (1)為替ヘッジの目的、(2)為替ヘッジの方法</p> <p>第11回 M&A(変革期) (1)M&Aの仲介者、(2)買収監査とは、(3)企業価値算定</p> <p>第12回 持株会社の設立(変革期) (1)コーポレートガバナンス、(2)内部金融</p> <p>第13回 日本銀行と金融政策 (1)日本銀行の役割、(2)金融政策の手段</p> <p>第14回 金融派生商品(デリバティブ) (1)有用性と危険性</p> <p>第15回 まとめ</p>			